

平成27年

第 88 号

大 鋌 協

2 月 20 日

発 行

ホームページでも
ご覧いただけます

大阪鋌螺卸商協同組合

<http://www.daibyokyo.com>

西表島

平 田 政 弘

- ◇「年頭所感」松井一郎 大阪府知事… 2～3
- ◇「年頭所感」小林三洋 理事長…………… 3
- ◇組合だより…………… 3～4
- ◇平成27年 新年互礼会開催…………… 4～5
- ◇FE図面セミナー開講…………… 5
- ◇未年生まれ経営者アンケート…………… 6～8
- ◇委員会だより…………… 9～11
- ◇支部だより…………… 11～13
- ◇第3回 ランニング同好会…………… 13
- ◇JIS規格改正説明会…………… 14
- ◇OS会の頁(村井耕太郎、藤森裕介)…………… 15

目

次

- ◇随想投稿欄…………… 16～19
(中谷雄三、佐藤詠希、長坂年之
山本裕司、亀井良一)
- ◇FEジュニアセミナー開講…………… 19～20
- ◇平成26年 講演会&忘年会…………… 20～21
- ◇シリーズ 私の宝物(奥山淑英)…………… 22
- ◇表紙のことば(平田政弘)…………… 22
- ◇今後の主な年間スケジュール…………… 23
- ◇編集後記…………… 23
- ◇協賛広告…………… 24

平成 27 (2015) 年 知事年頭所感

大阪府知事 松 井 一 郎



あけましておめでとうございます。

昨年は、青色 L E D 開発に対するノーベル物理学賞が授与され、i P S 細胞を用いた再生医療の世界初の臨床研究がスタートするなど、日本の科学技術力の高さに世界の注目が集まりました。また、日本、そして大阪でも日本一の高さを誇るあべのハルカスの開業もあって、外国人旅行者数が過去最高を記録するなど、景気回復に向けた明るい兆しが見えた年でもあります。

府政においては、大阪の成長戦略を推進し、成長と安全・安心のよき循環の実現を目指した取組みを進めてきました。健全で規律ある財政運営の確保を図りつつ、第 3 セクターの株式売却収入を活用したストック組み換えなど、政策の刷新を図った結果、危機的な財政状況から脱却できる見通しが見えてきたところです。知事としての任期最終年となる今年は、これまでの成果を定着させ、大阪のさらなる発展を見通す「仕上げの年」としたいと思えます。

観光集客については、2020 年の目標である来阪外国人旅行者数 650 万人の達成に向けて、大阪の都市魅力をさらに高めていく必要があります。今年は、新たな大阪のまちづくりの契機となった大坂の陣、道頓堀川開削から 400 年など、さまざまな節目が重なる年です。この 2015 年度を、大阪の都市魅力を発信する「シンボルイヤー」として、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けたキックオフの年とも位置づけ、「大坂の陣 400 年天下一祭」「水都大阪 2015」「大阪・光の饗宴」等の取組みやラグビーワールドカップの誘致など、都市魅力の創造と内外からの集客を戦略的に展開していきます。

成長の源泉となるイノベーション創出と、世界最高のビジネス環境整備にも力を注いでいきます。その突破口となる国家戦略特区に

ついては、昨年 9 月の区域計画認定により、まずは医療分野において新たな一步を踏み出しました。今後、大阪大学や国立循環器病研究センターなどでの保険外併用療養や「雇用労働相談センター」の実現をはじめとする特区提案の更なる具体化を通じて、岩盤規制を打ち破り、スピード感を持って規制緩和を実現していきます。

その拠点のひとつである「うめきた」は、世界中から人材、資金、情報呼び込むためのリーディングプロジェクトとして、2 期のまちづくりの方針の策定を踏まえ、民間の力を活かして都市形成を着実に進めてまいります。

関西国際空港は、国際拠点空港としての機能の再生及び強化などを図るため、大阪国際空港と合わせ運営権売却の手続きが進んでいます。今後、L C C など、航空ネットワークの充実が図られ、関西の活性化に資することを期待しています。鉄道ネットワークの充実や公共交通の利便性向上についても、都市の成長・魅力向上や、府民の暮らしの充実を図るため、昨年策定した「公共交通戦略」に基づき取り組んでいきます。

人口減少が続くなか、女性が輝く社会づくりや、将来世代への投資は重要です。O S A K A しごとフィールドに「働くママ応援コーナー」を設置し、女性の就業促進と社会進出を支援していきます。また、子ども・子育て支援新制度の実施に合わせ、乳幼児医療を含む子育て支援サービスの水準向上に向け市町村を支援する方向で考えています。引き続き、市町村との適切な役割分担のもと、広域自治体として、社会が持続するための不可欠な施策やサービスをしっかりと担ってまいります。

府民生活の安全・安心は、行政の基本的な使命です。昨年からの防潮堤の液状化対策など津波浸水対策、地震による火災・倒壊被害が想定される密集市街地対策を先行的に実施しています。新しい地震防災アクションプランに基づき、今後とも、こうしたハード整備やソフト対策に精力的に取り組めます。

知事に就任して以降、橋下大阪市長とともに府市協調・連携して大阪の再生に取り組んできました。この仕組みを定着させるため、新たな大都市制度の実現が必要です。特別区の設置について、最終的には住民の皆さんにご判断いただきたいと考えています。

大阪が変われば日本が変わると確信しています。改革を着実に進め、東西二極の一極を担う「強い大阪」を目指してまいります。

皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈りします。

年頭所感 機会の開拓をしよう

理 事 長 小 林 三 洋



謹んで新年のご祝辞を申し上げます。

平素より大阪鋌螺卸商協同組合にお寄せいただいております皆様の暖かいご指導とご支援、そして理事、委員長はじめ委員の皆様の積極的で献身的なご努力に対し、心より御礼申し上げます。

世界経済は米国、英国のみが堅調に推移しておりますが、ユーロ圏はデフレ危機をはらみ、中国経済も住宅バブルがはじけ、ピークアウトしております。

わが国経済は雇用面では改善が見られ、昨年10月の完全失業率が3.5%、有効求人倍率が22年ぶりの1.10倍となりました。

反面、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が景気を下押し、円安進行で期待された輸出も低調に推移しており、2015年10月の消費税率再引き上げが延期となるなど、一進一退で推移しております。

今年の焦点はアベノミクスの第3の成長戦

略になります。成長戦略として挙げられている目標は重要な項目であり、政府が担当官庁に対しどこまで踏み込んだ施策が行われるかにかかっております。そして最終的には民間の活動次第です。

ねじ業界を展望すれば、我々が扱っているものは資本財であり、ユーザー業界の動向に左右されます。円安になったとは言え海外生産に移行したユーザーの国内回帰も大きくは期待できません。逆に輸入資材の高騰が経営を厳しくしております。

成果・資源は企業の内部にはなく、顧客に聞き、外部に出て情報を収集する他ありません。成果は問題の解決ではなく、機会の開拓により得られます。

相互扶助の精神のもと、先輩達が提唱した全員参加、全員行動の組合活動を通じ、業界動向にアンテナを立て、情報を得られることをお願い申し上げますと共に、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますことをお祈りいたします。

組 合 だ よ り

◇表彰関係

受賞おめでとうございます。

◎大阪府商工関係者表彰

株式会社 ホシック

代表取締役社長 西沢 千秋 氏
(平成27年1月)

◎大阪ものづくり優良企業賞2014

株式会社 モリシタ

(平成27年1月)

◎大阪卸商連合会優良団体役員表彰

太陽ファスナー 株式会社

代表取締役社長 馬淵 健司 氏
(平成27年2月)

◇新社長就任

○東部支部所属

- ・園田鋌螺 株式会社
代表取締役社長 園田 徳郎 氏
(平成26年10月)

○西部支部所属

- ・由良産商 株式会社
代表取締役社長 由良 泰雅 氏
(平成26年10月)

○九条支部所属

- ・株式会社 大福金属
代表取締役社長 木村 尚基 氏
(平成26年9月)
- ・株式会社 乾製作所
代表取締役社長 乾 良次 氏
(平成26年10月)

盛大に新年互礼会を開催

総勢120名で門出祝う

平成27年新年互礼会が1月9日大阪市中央区の“ヴィアーレ大阪”で開催され、大阪府を始め関係団体の来賓、若手経営者で組織する〇Ｓ会の新幹事など総勢120名が出席、新年の門出を祝いました。



挨拶する小林理事長

互礼会は野島淳・総務委員の司会で進行。小林理事長が日頃の厚情や参会御礼の言葉とともに要旨次の通り挨拶しました。

「昨年一年間で為替は1ドル＝100円から120円へ20%円安になり、原油は1バレル＝110ドルから55ドルと半分になりました。この状況はどのエコノミストですら予想できなかっただけに、今年がどうなるか、というのは極めて不透明と言わざるを得ません。

ただ、ひとつ確定しているのは少子高齢化に伴う人口減で、あと20年もすると1億人を割るとする試算もあります。日本の人口が減ると必ず内需は下がります。今の日本には会社が約385万社ありますが、そのうち90%が中小企業で、この中小企業は大半が“内需依存型”です。私ども大鉄協の組合員は殆どが“内需依存型”なので、少子化のなかでどういった経営を展開していくか、は喫緊の課題となります。

しかし、私どもの地元・大阪は今年“元気”だと思います。まずIR（統合型リゾート）推進法案で、自民党を含む与党が過半数を占めたことで復活されるのではないかと思います。

す。また大阪駅前“グランフロント大阪”の第2期工事も始まりますし、関空・大阪空港の民営化などでも需要が期待されます。こうしたことから、皆様には敏感に“アンテナ”を立てていただき、今年一年、豊かで明るい年を過ごしていただきたいと思います」。

次いで来賓4氏が紹介され、代表して大阪府商工労働部商業・サービス産業課・宮崎豊課長補佐や大阪市経済戦略局・産業振興部商業担当・世良純一課長代理が、地域産業の活性化に向け展開する中小企業施策などを交え祝辞を述べました。

そして〇Ｓ会の平成27年度幹事を務める6名（別項）の紹介が行われ、村井耕太郎・代表幹事が「今年は“故（ふる）きを温（たず）ね新しきを知る”——“温故知新”をテーマに活動していきます。私も〇Ｓ会に入会し15年目になりますが、現在メンバーはかなり入れ替わっています。現会員にかつての〇Ｓ会を判って貰い、新しい考え方も採り入れていきたいと思っています。このテーマのもと幹事一同、力を合わせ精一杯頑張っていく所存であり、皆様のご指導・ご鞭撻をお願いします」と挨拶し、各自が自己紹介しました。

このあと本年の歳男（別項）16名に小林理事長から記念品が贈られ、代理を含む当日出席12名を代表して鈴木偉之氏が、ユーモアを交え今年に賭ける抱負を述べた。

続いて祝電披露を挟み、池田哲雄・相談役理

事による乾杯の音頭で開宴しました。参加者は“初顔合わせ”となるだけに、相互に懇親と交流を深め合いました。最後は増谷彰彦・副理事長による閉会の辞ならびに“一本締め”で盛況裡に散会しました。

平成27年(未年)歳男氏名(敬称略)

▽本田兼一(ホンダ鉾螺製作所)▽増谷幸宏(増谷ボルト)▽岡孟(岡ボルト)▽井上峰二(井上鉾螺工業)▽竹田伊佐男(秋津螺旋)▽若野繁治(サン・ファスナー部品)▽芝本敏二(太平鉾螺製作所)▽蛇川久男(カ

オル産業)▽吉岡真一(エヌエスメタル)▽山田尚央(山田製作所)▽山一精工(桂知伸)▽鈴木偉之(鈴木製作所)▽竹上浩史(竹上鉾螺)▽乾良次(乾製作所)▽野島淳(野島製作所)▽木村尚基(大福金属)

○S会幹事出席者(敬称略・紹介順)

▽代表幹事 村井耕太郎(村井製作所)▽幹事 増谷圭佑(増谷ボルト)▽同 武田透(三晃商店)▽同 藤森裕介(藤森製作所)▽同 西沢昌邦(ホシック)▽同 高橋聖志(三笠・鉾螺)



今年のOS会幹事メンバー



未年生まれ組合員の方々

FE 図面セミナー開催

労務委員会 15社から20名が受講

労務委員会(藤澤義弘委員長)主催のFEセミナー“第21回図面の見方・描き方”コースが、昨年11月7～8日の2日間、東大阪市の大府立東大阪高等職業技術専門学校で開講され、組合員企業15社から20名の社員が受講しました。

当日は同校テクノ講座担当の竹下郁雄・総括主査による挨拶、注意事項説明に続き、藤澤委員長が自己紹介とともに「今回はモノづくりにとって大切な図面の見方や描き方を学習していただく。皆さんも日常業務のなかで図面による見積依頼を受けることがあると思うが、図面を読めなければ仕事も出来ない訳で、2日間ながら適度にリフレッシュしつつ基礎を身に付けていただきたい」旨開講挨拶を述べました。

このあと担当講師の森由利子氏による講義に移りました。同コースは、所定のカリキュラムに従って講習が行われるもので、2日間全15時間の出席履修者には同校から修了書が授与されました。

講座内容は、JIS B0001機械製図に則り、

図面の大きさ及び様式や尺度など図面の見方や考え方の基本講義に始まり、ドラフターを使った実習により、三面図で表されている図形からその実体を具体的に想像、判断でき、かつ実体から三面図に直せることなど実務に活用出来る内容となっています。

因みに、同校が開設している“テクノ講座”の「基礎から学ぶ機械図面の読み方・描き方」コースでは4日間、延べ24時間履修が基本となっており、そこからCADの入門や基礎・実践、三次元CADによるモデリング、各種機械加工など実習を含む多彩な講座が設けられています。



挨拶する藤澤委員長(中央立ち姿)

～平成27年 新春企画～ 未成年生まれ経営者アンケート

1. ねじ業界に入られて何年におなりですか？
2. ねじ業界に入られた動機は？
3. ねじ業界の将来をどう思われますか？
4. 本年の景気予測は？
5. 貴方のお好きなスポーツ選手・芸能界その他の人、その理由。
6. 貴方の家族構成は？
7. 貴方の座右の銘は？
8. 貴方のご趣味は？
9. 何かスポーツをなさっておられますか？
10. 何時もよくご覧になるテレビ番組は？
その簡単なご講評も。
11. 旅行ブームです。昨年中にお出かけになった訪問地と、旅行の回数を教えて下さい。
12. グルメの時代は終わっても貴方の推薦のお店と、その自慢料理をご紹介下さい。
13. お正月のお休みはいかがなさいましたか？
初詣・旅行・家庭サービス・それとも？
14. 特に気をつけておられる健康管理方法は？
15. 最後に、2015年に年男となる貴方の新年のご抱負を一言。

井上鉾螺工業(株)

井 上 峰 二

(昭和18年生まれ)

1. 4年10カ月。
2. 創業者(祖父、大阪鉾螺卸商業組合初代理事長)の亡霊が枕元に現れ、操作されています。
3. ネジは産業の塩、実際は産業のみならず社会全てに使われています。人間社会の存続する限り、社会が変化をしても、ネジの需要は一定します。今後日本の人口は減少します。メーカー、商社とも統合などで生き残っていくでしょう。
4. 停滞。
5. 芸能ではご当地アイドルグループ。このAKB48を源とするConcept理念は今後世界各地に広がり、各地のアイドルグループが生まれ、当地の精神安定に寄与していけるのではないかと期待します。
6. 妻と二人。
7. 継続は力なり。
8. ネットサーフィン。
9. スキーはしたいが、欧州アルプスやピレネーは遠くなった。

10. テレビは見ません。YouTubeで日経他の動画等。
12. デパ地下以外に最近美味しいお惣菜のスーパーが増えました。しかし小生は原則自炊。
13. 会社の事務室でミイラになりかけました。
14. 食事は野菜・豆腐・乳製品中心。少食。
ストレスを少なくしたいが、出来ていない。
歩行、自転車で気分転換。
15. すべきことが多過ぎて、過飽和状態です。

サン・ファスナー部品(株)

若 野 繁 治

(昭和18年生まれ)

1. 42年～独立創業より28年目。
2. 友人の紹介。
3. 取組次第、若手の人達への教育。
4. 創業時より毎年厳しくとらえて日々チャレンジ。
5. 巨人軍終身名誉監督・長嶋茂雄氏。
不屈の精神力。
6. 妻、次女、三女。
7. 反省はするも、後悔はするな。
8. カラオケ。

9. 現在休養中。
10. ニュース番組、スポーツ特に野球。
11. 城崎温泉、有馬温泉、ハワイ。
12. 特に無し。
13. 初詣のみ。
14. 睡眠をしっかり取る。
15. 6回目の干支を向えて日々感謝でありがとう。

(株)山田製作所**山 田 尚 央****(昭和42年生まれ)**

1. 14年
2. 後継者不足。
3. 課題山積。
4. 微増。
5. 山本彩・橋本環奈。
6. 妻1人、子2人、兎1羽。
7. 痒いところに手が届く。
8. 精密採点DX。
9. なし。
10. ローカル路線バス乗り継ぎの旅。
11. 札幌・福岡・出雲・若狭。
12. 内緒。
13. 自宅で留守番(兎の世話)。
14. できるだけ歩く。
15. 静かなるチャレンジャー。

(株)鈴木製作所**鈴 木 偉 之****(昭和42年生まれ)**

1. 23年。
2. 家業を継ぐため。
3. 底堅い仕事ですが、競争が激しい。
4. 価格を底上げできれば上昇、良いが出来なければ、横ばい。
5. 今はギターシンガーの森 恵。
6. 嫁、子供3人の5人。
7. 常に生き急ぐ。
8. ソフトダーツ、ゴルフ、呑み。
9. ゴルフと週1.2のジム。
10. がっちりマンデー
色々な経営や新しい物の発見があるから。

11. 和歌山南部、夏場数回。田舎なもので。
12. ウラナンバと呼ばれる味園周辺のお店。若者たちと遊んでもろてます。
13. 大晦日に子供たちと近くの禅寺で、体験座禅をして、除夜の鐘をたたき新年を迎えました。
14. よく呑み、よく食べるために、出来るだけ歩く。
15. 気付けば一年終わってたな～と思えるくらい平和に過ぐす。

竹上鋌螺(株)**竹 上 浩 史****(昭和42年生まれ)**

1. 17年。
2. 父親の病気を機に、家業を引き継ぐ。
3. 将来、規格が統一されれば、ガラリと変わると思います。
4. 大企業は上向きになると思いますが、中小企業にとっては、未だ我慢の年だと思います。
5. 特にいませんが、同年代で頑張っているスポーツ選手は、応援したくなります。
6. 5人家族。
7. 特にありません
8. テニス、スキー、ゴルフ、パソコン、ラジコン、ミリタリー。
9. テニス、スキー、ゴルフ。
10. ネットが多いので、かかさず見ているテレビ番組は特にありませんが、旅番組、ドキュメンタリー等が好きです。
11. 元来出不精ですので、旅行にはあまり行きません。テレビの旅番組で満足しているのかも。大鋌協の支部旅行と、テニス合宿ぐらいです。
12. 宣伝でもいいですか？
姉が堀江でパンカフェを営んでおります。フレンチトーストが絶品です！。
13. 寝正月です。
14. 何もしていません。
そろそろヤバイですかね？。
15. 旅行の項でも言いましたが、元来出不精ですので、今年は積極的に行動したいと思います。

(株)乾製作所

乾 良 次
(昭和42年生まれ)

1. 6年
2. 家業であった為。
3. 明るくないが、暗くも無い。
4. 建築・土木向けで昨年よりは良くなる。
6. 妻・長女・次女の4人暮らし。
7. 心無 礙。
11. 熊野本宮大社と十津川温泉、他3回。
12. 法善寺近くの桃酔という居酒屋で、
魚介類のメニューが豊富。
13. 氏神様への初詣以外は、ほぼ寝正月。
14. できるだけ歩く事。
15. 今年は、長く続けることができる趣味を
みつけないと思います。

(株)野島製作所

野 島 淳
(昭和42年生まれ)

1. 26年。
2. 自然の流れで、ただ親の後を継ぎたいと
思いねじの世界に。
3. グローバル化にシフトしていかなければ、
緩やかにではありますが衰退していく…
のかな？。
4. 上向き！絶対良くなる！希望的観測です
が…。
5. 錦織 圭。
絶対不可能といわれた世界の扉を開けた
功績はすばらしい！。
6. 妻1人と子ども2人の4人家族。
7. 「アンテナを立てろ！」。
「自信と謙虚の間で生きる」。
8. 食べ歩き。
9. テニス、ウォーキング。
10. がっちりマンデー
頑張ってる会社を紹介する番組で
「俺もガンバラねば」と活力が湧いてくる。
11. 1回。本田支部旅行で城崎へ。
12. 大阪市西区立売堀の炭火焼鳥〔きち蔵〕。
どれも鮮度が良く、チョイ炙りに仕上げた
きもはフワッフワッ、こころはプリップ
リッ、ひねのぼんじりはギュッギュッと、

どの部位も食感、味ともに最高！お酒の
ラインナップも◎。

13. 初詣、買い物、テニス…家族でのんびり
過ごさせて頂きました。
14. 食う寝る遊ぶ。
15. 48歳。社会的に中心となって一番頑張ら
なければならない世代だと思いますので、
積極的に何事にも取り組んで行きたい。

(株)大福金属

木 村 尚 基
(昭和54年生まれ)

1. 15年。
2. 父親の勤めで。
3. あまり波の変動がなく安定していると思
います。
4. 景気予測というよりは良くなって欲しい
です。
5. 三浦知良。
サッカー界のレジェンドだからです。
6. 独身。
7. 初志貫徹。
8. ウォーキング。
9. していません。
10. あまりテレビは見ないので。
11. 出不精の為、全然行ってません。
12. 鉄板神社 創作串料理。
13. 寝正月です。
14. しっかりと睡眠をとる事です。
15. 年男であるのと同時に、社長に就任して初
めの新年なので、今迄以上に頑張りたい
と思います。



委員会だより

QRコードって？

EDI委員長 大喜多 正己

日頃は当委員会にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

QRコードの登場は1994年、もう20年以上前のことです。今ではすっかり普及し、日常的に目にするようになりました。

QRの特長ですが、例えば最もよく見かけるバーコードのJANは数字のみのたった13桁、対してQRは漢字や二進数まで混じった数十桁を収容しても非常にコンパクト。多少汚れたり欠けたりしても読み取り可能です。また、昔は機器により解読スピードに難がありましたが、今ではストレスを感じさせません。

現場のコンピュータシステムを考えていて、商品にバーコードが付いていれば…と思ったことのある方は多いでしょう。しかし、ねじは非常にアイテム数が多く、短い桁数では表現し切れません。大鉄協のNコードは英数字で37桁、更に入数等も必要なため、バーコードは現実的ではありません。そこで私たちEDI委員会では、QRを使った業界標準のマーキングルールの策定を目指しています。

今後ともご支援・ご協力の程、よろしくお願い致します。

羊(未)年を迎えて

業務委員長 垣内 龍夫

今年の干支は羊ですが、この羊は群れをなすところから、家族の安泰を表すとされ、未永く平和に暮らすという意味があるといわれています。また、羊年の人は穏やかで、楽観的で、人情に厚い人が多いとされていますので、ぜひとも平和な一年となります様、心より切に願うところであります。

さて、平素は、業務委員会の各事業に対しまして多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年も、共同購買、保健、出版、カーリース等、目標としていた数値も組合員

各位のおかげをもちまして達成する事が出来ました。ありがとうございました。

本年も同様に組合の財源確保にお役に立つように努力してまいりますので、変わらぬご支援の程、よろしくお願いいたします。

ねじ商工連盟のガイド雑感

JIS検討プロジェクトリーダー 井上 勝裕

御周知でしょうが附属書問題について、ねじ商工連盟より「附属書品から本体規格品への切り替えガイド」がネット上で公開されており当組合のサイトにもリンクがあります。

(ソースは<http://www.fij.or.jp/jis-guide/>を参照)

本ガイドを読みますとかなり深刻に感じました。複雑なのです。

この度の切り替えガイドでは、発注側、販売側が相互にわかるようにねじ業界が統一呼称を設定し、附属書はJA六角ボルト、JA六角ナット、本体規格はIS六角ボルト、IS六角ナットと呼ばれます。

ナットを例にいたしますと、M10は二面幅が17(JA)→16(IS)なので、識別は問題あるものの比較的容易です。

しかしM16の場合は二面幅24で変わりません。しかし高さは13(JA)に対し14.1~15.9(IS)と若干厚くなります。少し難になる。

M8の場合も二面幅は13で変わりません。しかし高さは6.5(JA)、6.4~7.9(IS)なので、公差はともかく端的に言うとサイズの同じであります。識別困難であります。

既述の寸法はISの部品等級は強度区分4.8のボルト対応のCの場合です。10.9の場合は部品等級Aを使わなければなりません。これまた詳細が異なります。ややこしいです。

ざっくりとですが、本体規格のほうは附属書に比べ、同じくらいからやや厚め、低型は薄め。公差違いで同じ寸法もあり。そして強度区分、精度、形状の「基準」が違う。

本体規格に移行することは「お願い」であり努力目標であります。勿論、業界として切り替えは積極的に奨めて行かなくてはなりません。

現行使用されている補修部品の意味でも両規格の混在は続くことでしょう。移行して市中に出回った後に設計者、使用者、供給者、製作者、補修側、それぞれのお立場のみなさまが両規格の峻別を円滑にできるのだろうか、とわたくしはやや懐疑的になるのです。

『晴れますように…』

福利厚生委員長 本田 裕久

平素は福利厚生事業にご協力いただき有難うございます。また、本年もよろしくお願いいたします。

今年の福利厚生委員会では、2月に、雨のため順延となりました第6回テニス大会(2/1)、第41回ボウリング大会(2/22)を予定しています。ご参加の皆様、寒い中ですが元気いっぱいのプレーを期待しております。

また来期になりますが、夏には第67回になります野球大会の準備を進めております。たくさんのチームのご参加お願いいたします。

昨年は雨に泣かされた1年でしたが今年は晴れるように祈っております。

本年も福利厚生事業にご協力、ご理解、ご参加の程よろしくお願いいたします。

～みんなで勉強しましょう～

経営委員長 三木 茂晴

まずは12月5日の講演会に多くの方のご参加を賜り感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、2月25日を皮切りに計6回シリーズの第8期社長塾を開催します。

建築・紙・薬品・衣料等異業種の経営者の方々に来て頂き、実体験を踏まえお話を聞かせて頂き、懇親会で本音の部分を含め楽しいディスカッションで我々ねじ業界活性化のヒントをつかんで頂こうと考えております。

今後のネジ業界を担って頂ける若手経営者の方々を中心に半年間みんなで勉強します。

本年も経営委員会の活動にご理解とご協力の程お願い申し上げます。

(お願い)

年末講演会時の講師の方をご紹介します。自薦他薦問いません。よろしくお願いします。

「労務委員会の一年」

労務副委員長 梅田 真吾

本年度労務委員会副委員長を務めさせて頂いております(株)梅田精密の梅田です。平素は、労務委員会の活動へのご理解と多数のご参加を賜り、誠にありがとうございます。

労務委員会は、今年、FEセミナーを3回と工場見学を1回予定しております。基礎を学ぶジュニアコース(1日間)は、11月に(株)三和鉦螺製作所榎本会長を講師として開講され、応用力を養成するスタンダードコース(2日間)は、3月に日本鉦螺(株)西川社長を講師にお招きし開講します。図面の見方・描き方コース(2日間)は、10月に東大阪高等職業技術専門学校にて予定されております。

工場見学は、6月に電炉メーカーである岸和田製鋼(株)および鉦螺の締結工具メーカーのTONE(株)河内長野工場の見学を計画しております。

また今年は、新たな企画として、工作機械(旋盤・フライス盤)を実際に使って機械加工を体験していただけるようなプログラムを検討しております。

組合員の皆様におかれましては、当委員会の活動に一層のご理解を賜り、各セミナーに奮ってご参加頂けますようお願い申し上げます。

エンキ氏の中国琵琶演奏

総務委員長 久保 哲也

新年明けましておめでとうございます。

昨年12月5日にホテルモントレ グラスミア大阪にて忘年会を開催しました。今回の忘年会には増谷副理事長様のご紹介で、中国琵琶

の演奏者のエンキ氏をお招きしました。

エンキ氏は2010年11月に天皇陛下がご臨席された奈良遷都1300年記念式典で、五弦琵琶を演奏されるなど、有名な方でその見事な演奏に思わず聴き入っていました。さらに和田副委員長様の名司会、ビンゴゲーム大会、恒例の大喜多様のジャズバンドの演奏。大喜多様には、エンキ氏との即興のコラボ演奏をして頂くなど、大変盛り上がったように思います。

また、今年の1月9日にはヴィアール大阪にて新年互礼会を行いました。多くのご来賓の方々、OS会の幹事の方々など100名を超える多数のご参加を頂き、盛大に執り行うことが出来ました。

今後の総務委員会の予定としまして、5月22日の通常総会、さらに7月24日から25日にかけての、日本ねじ商連通常総会が予定されています。特に今回の日本ねじ商連の総会は、大阪が担当であり現在準備を進めていております。

本年も総務委員会の行事に多数のご参加とご協力をお願い申し上げます。

続・ホームページについて

広報委員長 中上 真一

新年明けましておめでとうございます。

平素は、当委員会の活動に、ご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また、今回も多くの方のご協力により、無事「大鉾協88号」の発行に至りましたことにつきましても、重ねて厚くお礼申し上げます。

昨年来取り組んでまいりました、組合ホームページの改善についてご報告いたします。

報告と云うほどのことも出来ては無いのですが、新聞社（ファスニングジャーナル）さんの協力で、行事の都度、行事報告のページは更新されるようになりました。新聞社さんが取材に来られた行事のみなので、全ての行事は網羅出来ませんし、過去にさかのぼっては出来ませんので、まだまだ中身は少ないですが、徐々に増えていきますので、しばらくはお許してください。また、広報誌のページも、長い間、3～4年前のものが更新されずに掲載されていましたが、昨年秋から直近のものを掲載するようにさせていただきました。これをお読みのタイミングによれば、既にホームページに掲載されているかもしれません。

それから、ねじ商工連盟が発行している「六角ボルト・ナット 附属書品から本体規格品への切り替えガイド」も大鉾協のホームページから見られるようになっています。

全体的な雰囲気としては何一つ変わってないように見えるかもしれませんが、ちゃんと更新される仕組みの足掛かりは作らせてもらったと思っています。まだまだやらないといけないことがありますが、少しずつでも改善していこうと思いますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。

支部だより

今年も楽しく支部旅行

本田支部長 武田 等

新年あけましておめでとうございます。支部の皆様方にはお健やかに新春をお迎えの事と存じます。平素は、支部活動にご理解ご協力を頂き、誠に有難うございます。

今年の親善支部旅行は、3月7日～3月8日に

長良川温泉方面へのバス旅行を企画いたしました。全員参加を目標に活動したいと考えていますので、お忙しいとは思いますが、ご参加下さいます様、宜しく願い申し上げます。

また、恒例の京セラドームでの野球観戦も予定しておりますので、お楽しみに。

今年もよろしくお願い申し上げます。

「災害に強い国を」

東部支部長 鈴木 啓次

新しい年を迎え、新年会もひと段落の頃、寒さまだ厳しいですがいかがお過ごしでしょうか。又、平素は支部活動にご協力頂き誠に有難うございます。

昨年でもあります自然の驚異を見せつけられた様な年でした。大雨による各地の災害、なかでも広島の土石流や御嶽山の予想もしなかった噴火、時間的にも間が悪く多くの犠牲者が出ました。12月には過去に例の無いような爆弾低気圧による大雪など、被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げます。

私達の住む大阪は、本当に災害の無い良い町です。又、年末には選挙があり自民党の圧勝に終わりましたが、経済の行方は如何に？。行き過ぎの円安も何処迄？。不安も沢山ありますが、災害に強い国にしてもらいたいですね。

さて、東部支部では昨年10月31日、11月1日と伊勢志摩にグルメ旅行に出かけ、本年2月6日にシェラトン都ホテルにて新年会を開催しました。東部支部の新年会は毎年2月の第一金曜日に決めています。皆様、今後毎年2月の第一金曜日には予定を入れないで下さい。

今年も支部の皆様に喜んで頂ける企画を考え支部の皆様全員に参加頂けるよう頑張ります。今年も宜しくお願い致します。

3月に懇親旅行(九州)を予定

九条支部長 馬淵 健司

新年あけましておめでとうございます。支部の皆様方にはお健やかに初春をお迎えの事と存じます。平素は支部活動にご協力を頂き誠に有難うございます。

日本経済は昨年4月に実施された消費増税の影響が懸念材料ではありますが、円安の恩恵もあって大企業の業績並びに株価は大きく回復しました。しかしながら中小企業においては、回復の実感どころか急激な為替変動によるコスト上昇に頭を痛めている会社様も多

いのではないかと思います。そのような中でも明るい年にすべく懇親を深め情報交換できればと考えております。

支部の活動としましては、昨年9月6日に恒例の九伸会ゴルフコンペを増谷様のお世話により本田支部と合同で美奈木ゴルフ倶楽部で行いました。日本女子プロ開催のちょうど一週間前とあって素晴らしいコンディションの中でプレーさせて頂きました。

今後の活動としまして、3月に懇親旅行(九州)を予定しております。すでに多くの方から参加申し込みを頂いており非常に楽しみにしております。本年も支部活動にご協力とご理解の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

最後に2015年が、組合員の皆様方にとって素晴らしい年になりますことをお祈り申し上げます。

支部の行事

西部支部長 原田 棟弘

平素は、西部支部活動に、ご協力を頂き誠に有難うございます。

昨年から、どか雪で屋根の雪おろし中の転落で、死者まで出ているニュースを見るたびに胸が締め付けられる思いがする毎日です。

機関紙が発行される2月20日ごろにはより厳しい状況になっていなければ良いのですが…。

次年度からの支部委員

支部長に、(株)三木製作所 三木茂晴氏

副支部長に、(有)有本螺旋製作所 有本幸介氏

会計幹事に、大弘鉾螺(株) 森口聡氏

幹事に、大和鉾螺工業(株) 辻宏二氏

幹事に、サンコーインダストリー(株) 奥山淑英氏

幹事に、井上鉾螺工業(株) 小浦孝之氏

上記6名で支部運営を行って参ります。

皆様のご協力宜しくお願い申し上げます。

今年も例年の如く1月9日大鉾協新年互礼会が行なわれた夜に支部新年会を、粋餐 石和川(スイサン イワカワ)で行いました。

今年も3月か4月に京セラドームで阪神戦

を観戦予定です。野球に興味のない方もこの機会に観戦できるように全支部員にチケットを一枚配布する予定です。楽しみにしててください。

最後になりましたが、次年度から支部長を交代します。新支部長よろしゅう、お願いいたします。

今年も宜しくお願い致します

中央支部長 小西 弘美

新年明けましておめでとうございます。

支部の皆様方におかれましては、お健やかに初春をお迎えの事と思います。

平素は支部活動に御協力頂き、誠に有難うございます。

2015年の幕が開けました。アベノミクスによる株高・円安で大企業は一息ついた日本経済ですが、中小企業にとっては実感として成長の確かな手ごたえを感じるの、安倍政権にかかっているのではと、つい政権に頼りがちになる昨今ですが、現状を踏まえると企業と同じで各々で生き残り策を考えるしかなく、誰も助ける余裕等はないのではと考えます。

さて、今年の支部行事として1月31日に京都祇園 畑中で新年会を行います。

今後の予定としましては、4月初旬恒例の野球観戦・中旬に支部総会、それ以降に付いては、幹事会を開催して今年は活発に運営して行きたいと考えていますので、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、組合の皆様方のご健康と益々の会社のご繁栄をお祈り申し上げます。

中之島公園一帯を快走

第3回 ランニング同好会 延べ30名が参加

増谷彰彦副理事長が世話人を務める『第3回大鉾協ランニング同好会』が昨年11月29・30日、大阪市内北区の中之島公園一帯で開催されました。

両日合わせ延べ14社から計30名が参加、今回もスポーツ用品メーカー・ミズノの協力により、初日こそ一時小雨に遭ったものの、参加者は颯爽とランニング、清々しい汗を流しました。

午前8時30分、淀屋橋のミズノに集合し、地下1階のロッカーで着替えを済ませた参加者は、各々ニックネーム付きのゼッケンをつけて貰い和気あいあいとスタート。

今回は初級(約6km)と中級(約10km)にメニューを分け、走りました。初級ではランニングの基礎やフォームの矯正など、中級ク

ラスではビルドアップ走というスピードトレーニングも行いました。これは段々とスピードを上げていき、心肺機能の向上を図る目的で行われるトレーニングです。

このほかインストラクターからは、走り方は勿論、ストレッチの方法、長く早く走ることが出来るためのトレーニング方法、靴ひもの締め方に至るまで、様々なランニングに関する相談にも乗って貰い、参加者は約半日ランニングを楽しみました。

今回は、「結構キツかったみたいだが、皆さん堪能されていた」(増谷氏)模様で、程良い汗をかいた後は、ロッカールームに併設されたシャワー室を借り、サッパリ・充実した気分ですぐ家路に着きました。



初日の参加者



2日目の参加者



中之島を快走(初日)

六角ボルト
六角ナット JIS改正で説明会

(一社)ねじ協&ねじ研 大鉦協からも多数参加



挨拶する相澤会長

(一社)日本ねじ工業協会(相澤正己会長)および日本ねじ研究協会(同)は、六角ボルト・六角ナットのJIS改正に伴う説明会を昨年9月24日、大阪・天満研修センターで開催、近畿圏の会員ねじメーカーはもとより大鉦協の組合員も多数参加し、熱心に聴講しました。

最初に、主催者を代表して相澤会長が「JIS六角ボルト・六角ナットについてはご承知のように、1985年・第4回改正時にISOに基づいた規格を本体規格品とし、旧JISは附属書に移しました。その後、2004年・第6回改正時に附属書を2009年末限りで廃止と明記しましたが、本体規格品が日本国内であまり浸透していないことから今回の2014年・第8回改正では附属書の廃止期限を削除して、附属書規定を存続としました。その一方で、『附属書は将来廃止するので、新規設計の機器、部位などには使用しないのがよい』との文言を明記しています。

こうした経緯と、国際化時代における規格の整合性という課題に苦慮した結果を是非、ご理解いただきたい。とともに今後、本体規格品の浸透に努め、供給体制が整うよう熱意をもって進めたいと考えています。関係者各位のご理解とご協力を重ねてお願いします」旨の挨拶を述べました。

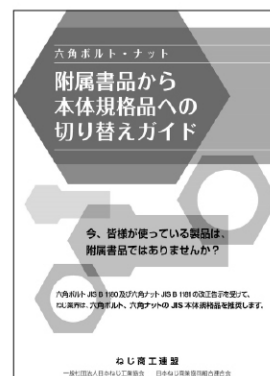
続いて、(1)「JIS改正内容のポイント」を(一社)日本ねじ工業協会・日本ねじ研究協会の大磯義和専務理事がパワーポイントを使って説明。(2)「六角ボルト(JIS B 1180)に関する注意点」を平戸眞澄氏(㈱平戸製作所)が、(3)「六角ナット(JIS B 1181)に関する注意点」を橋本知氏(㈱コベフォージ)がそれぞれリーフレット「六角

ボルト・ナット 附属書品から本体規格品への切り替えガイド」を基に説明しました。

このうち(1)「JIS改正内容のポイント」については、①六角ボルト・六角ナットJIS改正の経緯、②六角ボルト・六角ナット共通の改正点、③六角ボルト本体規格の改正点、④ボルトの強度区分—引張強さと破断伸びとの関係、⑤六角ボルト本体規格の部品等級、⑥六角ナット本体規格の改正点、⑦ナットの強度区分—スタイルとねじの呼び径の範囲との関係、⑧六角ナット本体規格の部品等級、及び参考として⑨引用規格の改正、の諸点について概要が説明されました。

また(2)「六角ボルト(JIS B 1180)に関する注意点」、(3)「六角ナット(JIS B 1181)に関する注意点」については、ボルト・ナットそれぞれの立場から①JIS本体規格品を推奨する理由、②JIS本体規格品と附属書品の違い、③移行に伴う課題と対応を述べるとともに、設計者・ユーザ・流通業者への理解と協力を求めました。

3氏による説明後は質疑応答も活発に行われ、同問題に対する関心の高さが伺えました。なお、この2日後、9月26日には東京・機械振興会館で同様の説明会が行われています。



大阪会場の模様

OS 会 の 頁

温故知新

(株)村井製作所

村 井 耕太郎

新年あけましておめでとうございます。

本年度OS会代表幹事をさせていただく事となり、OS会最後の年であります。

さて、本年活動テーマは「温故知新」でまいりたいと思います。温故知新とは、皆様御存知かとは思いますが、昔の物事を研究し吟味して、そこから新しい知識や見解を得ることの意味です。

一昨年には50周年という節目を過ぎ、現在会員も若返り、人数は少し減少という状況であります。そこで今、何が出来るのか、やはり伝統あるこの会の良さをいかに新しい方に伝えるかです。

私も入会させていただきまして15年目となります。そこで気付くことは、人と人の関わりの中で「楽しさ・優しさ・豪快さ」、そして人生において杓子定規では言えない素晴らしい経験を積むことが出来る場所がOS会だと思っております。

現在、他人に無関心・プライベートが大事という風潮ですが、まず会に参加し、人と係わりながら何かを感じること、そこから始まるのではないのでしょうか。その時に、新しい意見や考えが出てきて当然だと思います。

しかし、過去を一度知って、学び、新たな道理や知識を見出し、発展・継続していかなければなりません。

その為には、この一年全員に参加していただける企画や行動に努めてまいりたいと思っておりますので、一年間皆様の尚一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

社会人作文第一号

(株)藤森製作所

藤 森 裕 介

社会人になって初めて作文を書きます。何を書こうか迷いましたが昨年、久しぶりに体

調を崩しましたのでそれについて。

昨年の夏過ぎに（この文は2015年になって書きました）胃腸を少し悪くしました。一般の会社務めのときは毎年の様に健康診断を受けてました。しかし家業を継ぐようになってからは健康診断から遠ざかってしまいついには昨年、潰瘍という診断を下されたのです。サラリーマン時代より歳も重ねているので、行かなければならないと思っていた矢先のことでした。

幸い大したことはなかったのですが、医者から「ストレスはありますか？ストレス貯めないようにしてくださいね」と言われてしまいました。貯めているつもりもストレスも感じてるつもりもなかったけど、ストレスは意識していなくても知らず知らず体に負担になっているものだと言われました。

また、ストレスと思っていることは意外にストレスになっていなくて、普段の何気無いことがストレスになっていることもあるそうです。しかし、社会人である以上ストレス皆無というわけにはいかず、付き合い方を変えようと思い、2015年はストレス発散のために去年より趣味に時間を割こうかなと思っていました。

私の趣味はモータースポーツとスキーと釣り。スキーと釣りは小さい頃から親しんできていました。モータースポーツは免許を取得して出会ったので、まだ20年弱の付き合いです。しかし、モータースポーツ人口はこの数年で激減し、もはやレースと呼べない様なレースも。昨今、若者の車離れが叫ばれています。人口も減っていき、内需も下がっていく中、日本の主幹産業のひとつである自動車にもう少し興味を持っていただいて、モータースポーツが盛り上がり我想います。ねじ業界は自動車と深い関係にあるので、様々な形で自動車に携わっていければと思います。

お金を貯めて趣味に使い、ストレスを貯めない一年になればと思います。

随 想 投 稿 欄

2015年 年頭に想うこと

(株)オオヤマ

中 谷 雄 三

新年おめでとうございます。

年も改まり自分自身のことを考えてみると、今年誕生日を迎えると58歳、オオヤマに入社して30有余年、人生の折り返しはとうに過ぎ、会社では積み重ねた経験からか、社員教育を仰せつかるようになりました。

とは言っても、世の中まだまだ分からない、知らないことが日々増えているように思います。

たとえば気象のこと。大阪市内でも今年は元旦から雪が降り、数センチの積雪となりましたが翌日にはきれいに融けました。この冬は当初言われていた暖冬はどこかへ行き、例年になく寒い日が続いているように思います。日本海側を中心とした地域での暴風雪のニュースを聞くことが多いようです。

ただし、その原因は北極海上の高気圧などの影響で日本付近の偏西風が南側に蛇行したことに伴い、寒気が流れ込みやすくなり、強い冬型の気圧配置が続いたことによるようです。気象庁もそこまでの予測はできなかったようです。それでも全地球的には温暖化の方向に向かっているとのこと。21世紀後半には年平均+5～6℃の気温上昇となり、その影響により海面上昇、降水量の変化やそのパターン変化を引き起こすと言われています。

地球温暖化の原因としては、人類による様々な地球環境の破壊が指摘されています。対策として、京都議定書等の取り組みや、環境に関する国際会議も何度か行われていますが、効果としては期待薄であり、より強固な緩和策が必要だと言われているようです。私たち一人ひとりが住まわせてもらっている地球を守るという心がけが大事だと思います。

もっと分かりにくいことは、経済に関する

ことです。仕事に影響することが多いためその見極めが大事になるのですが、実に分かりにくいことばかりです。

円安は今後も進むのか？、落ち着くのか？、企業活動への影響は？。

原油安は？、ガソリン価格は下がりつつあるが、電気料金は上がる？。

消費増税の延期は？。2014年は4月に実施された増税への駆け込み需要、その反動が発生しました。今後予定されていた第2弾が2017年になるその影響は？。

政府による経済対策は？、いつ？、対象は？、どのような内容で？。

ただ、どのような立派な経済学者でも1年後の経済状況を予測することは難しいと言い、私もその場その場での状況に応じた最善の対応をするしかないように思います。

上記以外にも日々新たな疑問があり、その疑問をすべて解決できていないのが現実です。

このような、疑問も解決できないような自分が、人に教えるということは非常におこがましいことだと思っています。しかし、今まで積み重ねてきた経験や知識を伝えてそれが何らかの役に立ててもらえればとも思っています。

今後も、自分自身が疑問に思ったことそのことを大事にし、それをそのままにはせず、できるだけ解決させる方向へ持っていきたいと思っています。

エビと娘

太陽ファスナー(株)

佐 藤 詠 希

「エビさん、もう死んじゃったの？」

夕食が済んで随分と時間が経過してから5歳になる娘が目には涙を浮かべてそう言った。

我が家ではここ数年、年末になると立派な活き伊勢海老を頂戴している。

「ピンポン♪」

今年も例外ではなく、年末の休日に宅急便が届いた。最近はネット販売で買い物をする機会も多く、宅配で物が届く度に娘が自分の物が入っているのではとの期待から、率先して段ボールを開封したがる。

「何来たん？」私は「エビさん」とだけ答え、娘と一緒に開封することにした。ガムテープをカッターでそっと切り、ゆっくりと蓋を開く。娘は目を輝かせてドキドキ。だが、テープが引っかかって上手く開かない。早く早くっと、ますますドキドキ。

蓋を開けると赤黒い伊勢海老が何と5匹も。娘が「ワァッ！」と言った途端、その声で永い眠りから目が覚めたのかのように触覚と足をゆっくり動かした。

「わー、生きてるっ！」

しばしの時間、エビ達との触れ合いの時間があつたが、あまり長い時を過ごすとうも情が移る。「エビさんもう寝るって」と、長く伸びた触覚を箱の中に丸め込んで、そっと蓋を閉じた。ベランダの日陰に箱を置き、その時まで待機してもらうことにした。

思えば数年前にも同じようなことがあった。今は小学校4年生になる息子がちょうど娘と同じ位の歳の頃だろうか。初めて生きた伊勢海老と対面した時にも「早く金魚の水槽に入れてあげて！」と当然のように飼うものだと思っていた。

夕食の時間になり、私が出刃包丁で伊勢海老を捌く姿を見た時には泣き叫びながら「やめてえ～」と腕を掴まれたことを思い出す。大人の事情を丁寧に説明しても、その日息子は伊勢海老を一切口にしなかった。

その教訓から近年では妻が子供達を連れ出している間に調理を済ましたり、近所の魚屋で捌いてもらったりしている。

「エビさんもう死んじゃったの？」

「さっき美味しいって食べてたやんか」

「そっか、さっき食べちゃったヤツか。めっちゃ美味しかった！」

きつとわかっていて聞いたのだろう。うつすら涙を残して笑顔でそう言った。

良かった。マヨネーズ焼きにして。

老後に備えての趣味とは

山一精工(株)

長 坂 年 之

働き出して早や30数年。その間これといって趣味が無く時が過ぎてゆくばかりで、年をとるにつれて老後のたしなみを持ちたいと思っている。

今更、全くやったことのないものにまで手を出す器用さと勇氣はない。手っ取り早く学生の頃学んだ語学、韓国語を試みようと思ひ立った。

卒業して30数年経ち、韓国語を学ぶ環境は、驚く程充実しているようだ。書店には溢れんばかりのテキスト。語学教室の数の多さ。ネットを通しての情報の海。

さっそく手頃なテキストを買い求めてやり始めると難問に打ち当たった。

漢字が皆目使われていないのである。

30年前の当時はハングルと漢字が混在しており、日本で言う旧体の漢字が使用され、多少意味が異なる熟語があるものの、読めば比較的意識までは行かずとも、文脈は理解できたように思う。

現在は、日本語にたとえるならば、熟語を仮名で書いて置換えて、全て仮名で書かれてあるようなものだ。ハングルのみで書かれた文章を理解する読解力が必要となってくるだけに難易度が格段にアップ、ハードルが高くなってしまった。

同じ漢字の文化圏だが、政策によって漢字の使用頻度が少なくなる、他国のことでどうにもならないが何か寂しさを感じる。

難問は他にもあって、根気よく続けられない、加えて覚えたことを直ぐに忘れるということだ。寄る歳には勝てない。

あるべきもの、ありたいことに対して余りにも氣を取られている自分自身の頑固さに可笑しさを感じてしまう。

なんとなく「手っ取り早く」という動機、方向の無さがやり通すだけの氣概を潰しているようだ。

時間はまだある。今年1年じっくりと語学を通して何をやりたいのか的を絞りたいものだ。

じっくりと再考するとともに、自分自身の

「認識」、昔はこうだ、ああだの愚痴をこぼすのも、恥ずかしいばかりだ。

じっくり考え、補われないと自分に言い聞かせるようにしたいものだ。

時間潰し

(株)富士鉄工所

山 本 裕 司

日曜の昼下がりに無趣味の私は家の近くの四天王寺さんに散歩がてらに行く事があります。皆さんもご承知の通り、このお寺は約1400年前の推古天皇（第33代）の時代に、聖徳太子（以後太子）さんによって建立されました。

太子は、お父さんが用明天皇（第31代）で、おばさんが推古天皇そして祖母の兄弟に蘇我馬子^{そがのうまこ}がいます。父の用明天皇は、わずか二年で崩御、太子十四歳の時です。太子の父用明天皇は、仏教帰依を表明した最初の天皇で夭折した父の思いを息子として実現したかったんだらうと思います。

太子はこの地に国を代表する象徴的な構造物がほしかった。当時、上町台地のふもとには海岸線があったと思います。朝鮮半島から瀬戸内海を経て難波の浜に大陸の新しい文物や文化並びに、新しい技術をもった人達が上陸した時に、大門をはじめ五重塔や金堂や講堂を一直線上に配置されたいわゆる今で言うゲストハウス（迎賓館）に大陸の文化人達は、おそらく度肝を抜いただらうと思います。太子は国威発揚を狙い、なお且つ超大国隋と対等外交をしたかった、そして我が国の朝鮮半島での立場を優位に持って行きたかった、太子の思わくは大成功を納める事ができました。

そんな創建当時の背景を頭に入れて、今を散歩して最初に行くのが、何故か『亀の池』。何百か何千か？大小の亀が、いわゆる甲羅干しをしている光景を見ていると時間が止まっている様な錯覚を起こします。その亀の池のすぐ横に『亀井堂』。大きな石造の亀の口から、こんこんと霊水^{れいすい}が湧き出でて、供養をすませた経木を底も見えない位深そうな亀の甲羅の様な形をした井戸の様な池の様な所に浮かべて『浄土』に旅立させてくれるという摩

訶不思議な空間です。そして有料ですが、『極楽浄土の庭』は、四季を通じて美しく整備され大阪市内とは思えない程の自然が残されているのが、嬉しいです。

最後に、石の鳥居いわゆる『西門』は、極楽の東門にあたると信じられ、その鳥居の上にある額には、『釈迦如来 転法輪処 当極楽土 東門中心』と書かれてあり、春と秋のお彼岸の中日には、夕陽が鳥居の中に沈んでいくのを拝んで、西方浄土に思いを馳せる『日想観』を今なお取り行なわれています。

四天王寺さんのすべてを御紹介する事は、私などには到底できませんが、散歩がてらの時間つぶし、少しでもお役に立てば幸いです。

ありがとうございました。『拝』

カメラ

(株)コムウエル・フジサワ

亀 井 良 一

昨年末に自室の大掃除をしていたら、以前購入したカメラが出てきた。アドヴァンスドフォトシステム（A P S）が登場した頃のもので、うちもまともなカメラの一つくらいあったもいいだろうと入手したものだった。京セラ製のサムライというモデルで、形状が異質でとても気に入っていたのですが、結局新婚旅行と数回の外出で使ったのみで、後は箱の中で眠っていた。

使わなくなった理由は様々で、デジカメの登場やその普及によって現像を依頼する店舗が激減したことも要因の一つですが、昨今ではデジカメ自体も影をひそめ、今や写真撮影は携帯でというのが主流の様子。しかし私はこのあたりから何か違うと思い始めたのです。

例えば春、造幣局の桜の通り抜けに行った際、地面が見えないほどの大勢の人波に揉まれ、私が見たのは桜ではなく、桜の枝に向けて人が伸ばすたくさんの手と、その手が持つ携帯。満足いく撮影ができるまで動かない人々がさらに混雑を誘い、私に「もう造幣局に桜は見に行くまい」と思わせた。

あるいは出張先、開けた道のずっとずっと先なのに、立山連峰の壁のようにそびえる

山々に「うっ」という圧迫感にも似た迫力を感じて、そこで一枚と携帯で写真を撮ったのですが、その写真では遠くに山が写るだけで圧迫感は皆無。カメラの性能や手腕も多少影響されると思うのですが、自分が撮影したかったのは、その圧迫感だったのです。そのことで携帯での撮影にあっさりと限界を感じてしまった。

私にはカメラ趣味はないのですが、憧れのようなものを感じていました。露光やピント、光源などを細かく調整し一瞬を『切り撮（取）る』という、ある意味『瞬間の勝負』と思っていたからかも知れません。でも『瞬間の勝負』としてのカメラ趣味に本格的に没頭するのなら、私が入手したA P Sやデジカメ、携帯電話のカメラなどで役が足りるわけがないのです。

本来は人が調整し、撮り手の腕の見せ所となる露光やピントなどは、初めからプログラムされていて、状況に応じて選ぶだけの手軽さ。しかしこれを使って撮影したところで、優等生的な写真しか撮れない。かといって、機材を揃える資金的余裕も暇もなく、興味もそこまでは深くない。忍耐力も相当に必要だろう、今更それを鍛えられるとは思えず…。

前述の例で気が付いたことは、写真撮影も良いのですが、なにより大事なのは自分の五感を存分に使って感じるからこそ大事だということ。写真は花の美しさや山の雄大さを平

たく記録することができますが、風になびくさまや香り、寒暖や圧迫感などの『深み』を切り取ることは不可能。写真を撮る余裕があるなら、もっと感じたいと思うようになり、写真撮影はその先にあるべきと考えたのです。その後、現像不要の利点からデジカメを購入するもさほど使わないまま手放し、今はあまり写真を撮らなくなっていました。

携帯やデジカメの利点もあります。以前の銀塩ではフィルムに制限があり、つまらないものは撮影できなかった（逆に言えばその辺も『勝負』だったと思う）。あるいは旅の最後でフィルムが余り、それならばアレも撮っておけばよかったと後悔することもあったが、携帯やデジカメにはそういう場面にはほとんど出くわさない。何も考えず撮りまくって後で消せばいい。良くも悪くも写真撮影は『瞬間の勝負』から勝負を必要としない、カジュアルなものへと変化してしまった。

写真を撮って知人と画像を共有するのも良い。でも、「その場で五感で堪能できたか？」。撮影者の記憶が、写真を共有した人と同程度の感動でしかないのなら、それは現場に行ったものとしては少し寂しい。

さて、めっきり写真を撮らなくなった私。とはいえ稀に携帯で撮影するものと言えば…、まさにつまらないものばかり。スーパーマーケットでの誤字脱字とか、通りのおかしな看板とか。…そう、もちろん五感で感じながら…？。

FEジュニアセミナー開講

労務委員会 25社から57名が参加

労務委員会（藤澤義弘委員長）企画・運営による第3回「FE JR（ジュニア）セミナー」が昨年11月14日に開催されました。会場は大阪市中央区の鉄鋼会館。日本鉾螺(株)社長の西川倫史氏が講師を務め、社員たちが身に付けておくべきねじの基礎事項について一つひとつ丁寧に講義し、25社から参加した57名の聴講者たちは熱心に学びました。

当日は9時半に会場へ集合、夕刻5時まで5コマの講習が行われました。

はじめに「鉾螺」という名前の由来を紹介して、続いて世界での螺旋構造とねじの歴史、日本におけるねじの始まりと普及など、まずは入門に相応しいテーマを挙げて、聴講者たちをねじの世界へと導きました。次に、ねじ流通業の地域別の実態（年商、企業数、従業員数）、ねじ輸入の推移、ねじ輸出の推移を解説するとともに、ねじが関係した社会問題について、那覇空港の中華航空機炎上事故など事故例を数例挙げて、1本のねじでも設計



講師の西川倫史氏

や点検を誤ると大きな事故に繋がるものであり、いかにねじが人々の安全な暮らしにとって重要なものであるかを力説しました。また、ねじ業界で働く上で、ねじへの好奇心・興味・関心を持って、ねじを好きになるとねじに関する知識も早く身についていくものである、とアドバイスを述べました。

次に「規格・呼び・公差」について、ねじ規格の推移、JIS六角ボルト・ナット規格改正、本体規格品（IS）と附属書品（JA）の相違点、規格の整合性、ねじ山の名称（有効径など）、ねじ山の形式、ねじの呼び径、公差域クラス、検査（ゲージなど）を一つひとつ解説していきました。

さらに「製造方法」について、「てつ」の作り方、ねじの材料、炭素鋼の種類、合金鋼の種類、ステンレス鋼、様々な非鉄金属、ねじの強度区分（引張応力・降伏応力など）、材料の強度、熱処理を行う理由、熱処理の種類・方法・硬度など、強度区分と熱処理温度の関係、めっきの効果と方法、めっき厚、遅れ破壊、ベーキング、表面処理評価方法、ねじの締め付けトルク、製造工程、ボルトの圧造機械・転造機械、ナットの圧造・ねじ切削について

解説しました。

このうち、ねじの締め付けトルクの項目では、適正トルクの計算方法について、具体的な練習問題を2問出題、聴講生たちは懸命にチャレンジしました。

最後に、講義内容のまとめと質疑応答・アンケートを行って閉会となりました。

労務委員会では、基礎から応用まで習熟度に応じて段階を踏んだ講義を受講できるよう、2012年からそれまでのFEセミナーを、FEJR（ジュニア）セミナーとFE ST（スタンダード）セミナーに分けて実施しています。今年も基礎知識の習得を目指すFE JRセミナーを開催し、このJRセミナーで基礎を固めたのち、より高度な応用力の養成を目指すFE STセミナーでさらにレベルアップが図れるよう計画されています。また、両セミナーとも、来年に創設予定の「FE PRO（プロ）検定」に繋がるセミナーとして位置付けられています。

なお、FEとは「Fastener Engineer」の略であり、JR（ジュニア）セミナーでは入社1～5年目の社員を受講対象としています。



熱心に学ぶ聴講生たち

人材戦略について学ぶ

年末恒例の講演会&忘年会開催



講師の西本氏

年末恒例の経営講演会ならびに忘年会が、昨年12月5日ホテルモントレグラスミア大阪で開催されました。人材戦略に関する講演の後、忘年会ではミニコンサ

ートやビンゴゲームなどを交え、107名の参加者は和やかに行く年を送りました。

第1部の講演会には52名が参加、経営委員会（三木茂晴委員長）の企画・運営により、小林理事長による開会の辞に続いて、『選ばれる企業になるために取り組む人材戦略～個々の能力を育成し、発揮できる環境づくり』をテーマに、DNV GLビジネス・アシュアランス・



忘年会で挨拶する小林理事長

ジャパン(株)マーケティング&セールス部セールスマネージャを務める西木寛和氏の話は約1時間半にわたり聴講しました。同氏は外食・アミューズメント業界や第三者監査・認証機関に身を置き、マネジメントシステムに関するコラムも執筆しています。

西木氏は冒頭、自己紹介を兼ねDNV社の概要や各種提供サービスについて述べ、その背景や規格・基準の増加傾向などとともに、顧客ニーズに対応できる人材育成の重要性を指摘。米・英・独における教育の違いを紹介し、環境で変わる人の育ち方という観点から人材を育む組織風土作りを力説しました。

最初は躰やマナーの向上とともに技術面でのトレーニングを重視し、ゆとり教育世代の得手・不得手分野などを理解したうえで、教育する側も相手の主体性を引き出すべく考え方の切り替えが必要と述べました。つまり「努力次第で達成できる目標」を設定し達成できた場合は必ず褒めることや、失敗を含め経験から学ぶことの大切さ、社内外での「対話」の重要性を説くとともに、状況に応じ対応できる社員の育成を鍵としました。また人間関係をベースにしたチームワーク構築へ、「ハウレンソウ」(報告・連絡・相談) + 打合せ・根回し — のサイクルを定着させ、「同じ考え方や

価値観を共有したうえで、個々が持っているそれぞれの才能を活かせる」『同魂異才』の社員を育てることが理想と結びました。

講演会は質疑応答を経て、谷川清石副理事長による謝辞で終了しました。

引き続いての忘年会は久保哲也総務委員長の開会の辞に続き、和田正総務副委員長の司会・進行により、小林理事長が参会御礼ならびに日頃の組合運営への協力に謝意を表するとともに要旨次の通り挨拶しました。

「おかげ様で組合は非常に順調に運営されています。特に予算面は業務委員会の頑張りにより、各委員会が十二分かつ円滑に活動できる状況も整っています。大いに組合を利用させていただき、皆様の企業がより良き会社になるよう祈念しています。忘年会の設営に当たり尽力いただいた総務委員会メンバーのためにも、本日は様々な怒りも忘れ、暫し皆様楽しい一刻をお過ごしいただきたい」。

このあと中国・大連でのダボス会議(09年)や、天皇陛下がご臨席された奈良遷都1300年記念式典などで演奏を披露、国内外各方面で活躍している中国琵琶アーティストのエンキさんによる演奏を挟み、由良豊一相談役・理事による乾杯の発声から開宴しました。8年前から恒例となった組合員の大喜多正己氏が友人と組んだジャズ・セッションや、前記エンキさんとのコラボ演奏も披露されました。また豪華景品が当たるビンゴゲーム抽選会も行われ、出席者は和やかに歓談、そして午後8時半過ぎ西幸男副理事長による“三本締め”で本年を締め括りました。



忘年会の様様



中国琵琶のエンキさん(右)と大喜多バンドのコラボ演奏

シリーズ 私の宝物 「宝物？」

サンコーインダストリー(株)
奥 山 淑 英

今回「大鉄協88号」という末広りの名誉ある回にお話しいただき、初めて「宝物」について考える機会をいただきました。

さて、その宝物についての考察ですが、色々と考えた末「宝物がない」という結論に達しました。と、こうやってしまうと「大切なものがない」とも言うのか」とお叱りを受けてしまいそうですが、決してそういう意味ではありません。大切なものはたくさんあります。守るべきものもたくさんあります。しかしながら「宝物」という私的なものを見ると見当たらぬのです。いや、正確に言うと「宝物を敢えて持たないようにしてきた」と言ったほうが正確かと思ひます。

原因論の観点から振り返ってみますと、わたしは昭和49年生まれですが、我々の世代は幼い頃に「なにくそと思え」「叩かれて、叩かれて這い上がってこい」と言われて育てきた世代です。思春期に差し掛かる前には、そういった考え方に傾倒しつつある自分が存在したことも事実です。

そう信じてきた1991年に日本ではJリーグが発足しました。その年から1年と経たずして、日本中が「褒めて伸ばせムード」に大きく転換しまして、「今まで信じてきた思想はいったい何だったのか」と愕然としたことを今でもはっきりと覚えています。さらに同年、バブル景気が崩壊し「失われた20年」が始まります。ちょうど社会の様々なことに関心を持ち始める年頃から日本は不況に突入しまし

た。世の中を飛び交う言葉は「リストラ」「経費削減」とネガティブな言葉ばかりになりました。そんな中で「何も持たない事」が我々の世代の中でいつしか美德のように扱われるようになり、価値観の大きな部分を占めるようになりました。

ゆえに、わたしは基本的には「宝物」という極めて私的なものを敢えて持たないようにしてきました。つまり「宝物＝贅沢品」さらには「宝物＝自身を束縛するもの」に見えていたのだろつと思ひます。

しかし、40歳になって最近、宝物についてのネガティブな感情はある程度払拭されつつあり、また、「失われた20年」についても、それが価値観の多くを占めるというよりも、一つの経験と受け止めることができるようになってきたように感じます。

なぜそんな風に変化してきたかという、これは環境の変化なのだろつと思ひます。今の若い人たちの感性や常識に触れますと、我々の世代が、というよりも、わたしの価値観がいかにネジ曲がったものであったかをわたし自身が痛感し始めているのだろつと思ひます。今の若い人たちは、非常に素直で柔軟性に富み、とても勤勉でありますので、感化されたいと自身が感じているのでしょうか。

わたしもいずれ「あらゆることが宝物なわけだよ」と照れもせず、素直に堂々と若者のように言える日が来ればいいなと感じます。

表紙のことば

西表島

平田ネジ(株) 平田 政弘

写真は年末年始を過ごした西表島での夕陽の一枚です。

西表島は沖縄本島の次に大きな島で島の90%がジャングルと言う自然豊かな島でした。さすがにイリオモテヤマネコとの遭遇のチャンスはありませんでしたが、絶滅危惧種であり特別天然記念物でもあるカンムリワシを眼にする事が出来ました。

しかし何と言っても道のりが遠かった…。

朝7時に自宅を出発し、飛行機と車と船を乗り継いで当地のホテルに到着したのがナント夕方17時。ホテルに就く頃にはへとへとでした。しかし翌日から眼にした自然の数々には大変癒されて帰って来ました。また何よりも通信環境が完璧でない為、デジタルデトックスには最適でした！。

※本稿の写真は琉球政府時代の名残の石碑です。



今後の主な年間スケジュール

2015.2

日 時				行 事 (予 定)	場 所
2	20	金		広報誌(88号)発行	ヴィアーレ大阪 ヴィアーレ大阪 ボウルインクス 大阪産業創造館会議室
	20	金	14:30	三役会	
	20	金	16:00	理事会／役員懇親会	
	22	日	10:00	第41回ボウリング大会	
	25	水	18:30	第8期社長塾①	
3	6～7		9:00	第28回 FEセミナー (Stコース)	鉄鋼会館 事務局 健保会館 大阪産業創造館会議室
	11	水	13:30	三役会	
	11	水	15:00	理事会	
	11	水	18:30	第8期社長塾②	
4	22	水	11:30	三役会	事務局 健保会館 大阪産業創造館会議室
	22	水	14:00	理事会	
	22	水	18:30	第8期社長塾③	
5	20	水	18:30	第8期社長塾④	大阪産業創造館会議室 ヴィアーレ大阪
	22	金	14:00	通常総会(理事会)	
6	4	木		ねじ工場見学	岸和田製鋼(株)・TONE(株) 事務局 健保会館 大阪産業創造館会議室 健保会館
	10	水	13:30	三役会	
	10	水	15:00	理事会	
	10	水	18:30	第8期社長塾⑤	
	未定			第67回野球大会 キャプテン会議	
7	8	水	18:30	第8期社長塾⑥	大阪産業創造館会議室 有馬グランドホテル 村田機械(神足球場) (8月回収)
	24～25 26	日	9:00	日本ねじ商連総会 第67回野球大会(1～2回戦) ねじ流通商社経営実態調査票、組合員に配布	
8	2	日	9:00	第67回野球大会(2～3回戦)	村田機械(神足球場) 太陽ヶ丘球場(宇治市)
	23	日	9:00	第67回野球大会(準決勝・決勝他)	
9	9	水	13:30	三役会	事務局 健保会館
	9	水	15:00	理事会	
	21	月		広報誌(89号)発行	
10	2～3		9:00	第22回 FEセミナー(図面の見方・描き方)	テクノセンター東大阪 シーサイドテニスガーデン舞洲
	25	日	9:00	第7回 テニス大会	
11	11	水	13:30	三役会	事務局 健保会館 鉄鋼会館
	11	水	15:00	理事会	
	13	金	9:00	第4回 FEセミナー(Jrコース)	
12	4	金	16:30	講演会	ホテルグランヴィア大阪 ホテルグランヴィア大阪
	4	金	18:30	忘年会	
2016 1	8	金	10:00	新年互礼会(関西ねじ協同組合様と共催)	シティプラザ大阪

*3月以降は予定です。

編集後記

毎回お忙しい中、多くの方に寄稿いただき心よりお礼申し上げます。

様々な原稿に目を通しながら「ねじ業界は本当に才能豊かな方が多いなあ」と感心します。

皆様に少しでも楽しく読んでいただけますよう頑張ります。

(高橋 洋介)

発行所

〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
(ツチノビル)

大阪鉄螺卸商協同組合

電 話 (06) 6271-4550

印刷所

〒537-0013 大阪市東成区大今里南2-5-5

株式会社 ベン・アート

電 話 (06) 6973-3338

大阪鋌螺卸商協同組合の 保険相談窓口

大阪鋌螺卸商協同組合では、組合員の皆様のための、保険相談窓口をご用意しております。既にご加入の保険の見直しや、新たにご加入になるときのご相談等を承っておりますので、是非ご活用ください。

取扱商品



生命保険

火災保険

医療・がん・傷害保険

超保険
超ビジネス保険

自動車保険

賠償責任保険



* 生命保険・医療・がん保険のお引き受けは、東京海上日動あんしん生命(株)の商品で(株)東海日動パートナーズかんさい 大阪南支店にて引き受けとなります。

この他にも多数商品を取り揃えております。
お見積もり、ご相談は無料ですので、
お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先

大阪鋌螺卸商協同組合

担当：中西

〒542-0081 大阪府中央区南船場2-6-10
ツチノビル

TEL 06-6271-4550 FAX 06-6271-0514

提携代理店 株式会社東海日動パートナーズかんさい

TEL 06-6649-6727

大阪南支店 担当：井上

FAX 06-6649-6715

〒556-0011 大阪府浪速区難波中1-6-8 一栄ビル4F

引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社
大阪南支店 直轄S

TEL 06-6203-0821